

体の外郭団体と比べて出資元からの受託事業比率は高くなく、横浜水道局100%出資の公益性、中立性をもとに、水道局の培ってきた技術やノウハウを活用して、国内外の事業体への事業支援などを展開し、着実に売上を伸ばして利益を確保してきました。

上下水道事業は市民生活の安全、安心、安定を確保するために必要不可欠な事業であり、当社でこの努めてまいりました。引

ダ―の皆さまのご理解とご支援に支えられ、様々なご要望や課題の解決に

のような公益的で重要な仕事に携われることができ、強い責任と誇りを日々感じています。ます。

— 多くのステークホルー
— 横浜ウオーターの概

給水装置工事電子申請シ

発になり、その支援二一
ズの高まりを感じていま
す。当社が担う役割を見
極めつつ、他の民間事業
者とのパートナーシップ
の構築に努め、ウオー
化を進めていきます。

ました。当初は社員と2名は、特に厳しい経営状況に置かれている事業体も、

わすか13名から始まった
会社が、今は100名を
超える規模となるなど、
あり、当社のような全生
性・中立性が高く、技術
やノウハウを持ったパー

これまで着実に発展を続けることができました。
それを支えているのは、長い歴史を有する横浜市
トナーからの支援が求められていると感じています。国交省をはじめ国の動向を注視しつつ、お客

をはじめ各事業体に蓄積されている経営・技術に関わるノウハウです。様々なバックボーンをもった社員が集い、公民様のニーズに即したソリューションを提供し、持続可能な水道事業の realization に引き続き貢献してまいります。